

平成27年7月22日

電力広域的運営推進機関

## 再生可能エネルギー発電設備の出力抑制に関する検証結果の 公表について

九州電力株式会社が平成27年5月5日（火）に実施した、種子島における再生可能エネルギー発電設備の出力抑制について、当機関は、送配電等業務指針第154条第2項に基づき、出力抑制に関する給電指令の妥当性を検証したので、下記のとおり、その結果を公表いたします。

### 記

#### 1. 検証内容

- ①抑制指令を行った時点で予測した離島の需給状況
- ②下げ代確保の具体的内容
- ③再エネの出力抑制を行う必要性

#### 2. 検証結果

検証内容の①～③それぞれの項目について検証した結果、下げ代不足が見込まれたため行われた、今回の出力抑制の指令は、適切であると判断する。ただし、需要や太陽光出力の変動リスクを考慮したうえで、出力抑制回避と安定供給のバランスを取った運用をするため、以下の改善点を提案する。

（改善点）

- ・需要想定の変化する精度向上
- ・太陽光発電の最大出力想定および出力低下想定の変化する精度向上

#### 3. 添付資料

再生可能エネルギー発電設備の出力抑制の検証結果  
～平成27年5月5日 種子島（九州電力）～

以上